

化、民間活力の活用等。

問2 通学区域と小浜小開校、基本設計について。

答 九月下旬に地元地域へ説明し、通学区域審議会へ反映。答申を受け教育委員会決定する。

問3 新世紀いきいきまちむらづくりを活かしたの振興計画。食まち、交流人口の拡大について。

答 市、地域とが協働。全庁体制で基本計画を策定。香川県丸亀市とは友好と繁栄を期して姉妹都市締結へ。交流事業を支援する。

問4 小浜市環境基本計画、自然、生活、地球、教育学習参加の環境問題循環型の社会構築の中、身近なゴミ問題の適正処理、排出抑制およびリサイクルの推進について。

答 各区の環境美化推進員、まちむら委員会、関係機関と協働協力し、可燃ゴミ用指定袋やゴミ有料化を検討。可燃物、不燃物を分別資源化する。



垣本 正直 議員

問1 食のまちづくりの目指す将来像と、その目標は何か。

答 産業の振興と、環境保全、健康の増進や福祉、食育など広範囲な分野での食のまちづくりを進め交流人口の拡大や地域産業の振興等幅広い分野の活性化を図り住んでよく訪れてよいまちづくりを目指す。

問2 市民の病気や健康に配慮した食生活管理の取り組みは。

答 自分の健康状態に合った食事を考え、食べる量や主食、副食のバランスの選択力をつける個人の関わりを充実させる。

問3 地区振興計画実現の具休策。

答 今年度中にまとめる。全庁体制で条例に基づく食のまちづくり基本計画を策定する。実行可能なものから取り組む。

問4 青年活動プロジェクトチーム設置の目的と進め方は。

答 青年達が活動を通じて人づくり、豊かな地域づくりに参画するための方策について検討する。各公民館を中心に地区にあった活性化方策を進める。



山本 益弘 議員

問1 福井豪雨災害の教訓から河川の整備状況、市街地の排水対応、避難体制（特に障害者等の弱者）について。

答 ①南川北川は雑木撤去を含め、河川整備計画に基づき整備する。②市街地冠水のないように抜本対策を考え雨水渠の整備をする。③来年度から避難訓練に弱者の訓練メニューを入れる。また、防災カードも検討する。総合的防災管理を担当する課を設ける。

問2 広葉樹の立枯れの状況と有害鳥獣との関連について。

答 自然災害のみならず、原子力災害やテロ、拉致などの幅広い分野における緊急事態から市民の生命、

答 ①現在二・五ヘクタールの被害で「かしのならくい虫」が原因である。②ビニールシートを巻くか薬剤注入しかない。平成十七年度から対応していく。③エサを求めて里へ獣が下りてくるので早期対策をしていく。④駆除の後始末は現在埋葬しているが火葬も考えていく。

問3 身の丈財政といきいきまち・むらづくりの今後について。

答 市長の反省も含め市民に理解と協力をし、いきまち・むらづくりの地区の計画が実現できるよう最大の努力をする。

問1 自然の猛威も当然の高めれば被害も最小限に食い止める事は十分に可能と思いが市長の危機管理や災害対策についての考えを問う。



下中 雅之 議員

答 自然災害のみならず、原子力災害やテロ、拉致などの幅広い分野における緊急事態から市民の生命、

身体、財産を守るのは行政の基本的責務。来年度、防災をはじめとする危機管理を専門的に扱う部署を設置する予定。

問2 小浜市では乳幼児が病気になるたときの病児保育の取り組みについて、どのように考えているのか。

答 医療機関と協議を図り他市の状況を見ながら前向きに研究する。

問3 市長が思う誇りの持てるまちとは、どのようなものか。

答 市民、事業者、行政が、それぞれに食のまちづくりの理念を理解し地域全体が一丸となつてわが街を活性化しようと本気で取り組むことが重要である。



宮崎 治宇蔵 議員

問1 美浜原発事故についての見解。準立地協議会の関電本社への申し入れについて。安全協定の見直しについて。

答

今回の事故は死傷者十一名のうち六名が小浜市民であり、原子力への信頼を損ねる大変遺憾な事故である。九月一日大阪本社へ原因究明に関する情報の適時公開、風評被害に対するイメージアッ プ、安全管理の徹底的な洗い出しと信頼回復、高経年化に伴う廃炉検討など六項目について文書での回答を求めている。協定書、運用規定を見直す点があれば検討する。

問2

介護保険の見直しについて。

答

軽度者の介護サービスの現状を把握分析し、充分検討されるよう強く訴える。同居家族の保険料は不公平感が否めない現状を説明したい。

問3

洪水ハザードマップの作成について。

答

北川、南川の浸水想定区域図が揃い次第、作成に取りかかる。

問1

市長、二期目の抱負について、施政方針



池田 英之 議員

と特に重点的に取り組むことは。

答

身の丈にあった財政運営に努める。特に、食のまちづくりを定着させる中で、経済波及効果、雇用の確保等について万全の対策をとる。

問2

豪雨災害対策について、崩壊危険個所の把握、災害弱者への対応、市民防災意識の向上への取り組みは。

答

七三二箇所の危険個所について実態把握に努める。災害弱者については、各地区民生委員との連携で対応する。市民の方には自主防災組織の結成について理解を求める。

問3

世界遺産暫定リストへの上乗せ、取り組むべき課題と今後のスケジュールは。

答

周辺景観の保存、伝統的建造物群保存地区の選定、史跡の指定が課題としてある。当面、神宮寺遺跡確認調査を継続して実施し、平成二十年度以降、史跡選定を目指す。

総合振興協議会の開催結果

本市議会では、近隣の町村との共通課題などについて協議するため、近隣町村（三方、上中、名田庄、大飯、今津・朽木）との総合振興協議会を開催しております。前回お知らせした後に開催されました上中町との小浜・上中総合振興協議会、名田庄村との小浜・名田庄総合振興協議会および上中町・今津町・朽木村との小浜・上中・今津・朽木総合振興協議会の結果概要についてお知らせいたします。

小浜・上中総合振興協議会

○とき

平成十六年八月二十四日

午後三時～

○ところ

上中町議会委員会室

本協議会では福井県嶺南振興局 川波局長ならびに小浜土木事務所 三田村所長を来賓にお迎えし、現在両市町において懸案となっている「県営ふるさと農道緊急整備事業（若狭中央地区）の計画について」、「舞鶴若狭自動車道の現状と見通しについて」、「琵琶湖・若狭湾快速鉄道について」の三つのテーマについて説明を受けました。特に、県営ふるさと農道の計画については、現在小浜市上野（野代間まで開通している若狭西街道と県道小浜・上中線をつなぐルートであります）が、実現することにより、国道二七号のバイパスとして、より機能が高まるものであり、今後の両市町の発展には欠かせないものであると見られます。出席した双方の議員からは様々な意見や要望が発言されるなど、今後の地域の発展に向けた意義深い協議会となりました。

小浜・名田庄総合振興協議会

○とき

平成十六年九月二日

午後三時～

○ところ

若狭おばま食文化館

本協議会では、会場を若狭おばま食文化館とし「まちづくり・むらづくりについて」をテーマに本市の推進する「地産地消・食育について」を市高島総括審議監からご説明をいただき、続いて「名田の荘郷づくり構想」の説明を中塚村議からご説明をいただきました。その後、まちづくりの取り組みや住民の参加状況などについて意見交換を行うなど、お互いのまちづくりへの認識を深めることができました。

小浜・上中・今津・朽木 総合振興協議会

○とき

平成十六年十月十二日

午後二時～

○ところ

小浜市役所五階

全員協議会室ほか

本協議会では、構成されている四市町村での共通課題となっている国道三〇三号の改良について、先に現場踏査を実施いたしました。その後、小浜市役所で総会を開催しました。総会では、今津町と朽木村が来年一月から高島市へ、上中町は来年三月に若狭町となる予定のため、本協議会を発展的に解消し、設立趣旨を引き継いだ新しい構成の協議会を来年度中に再結成することになりました。その協議会において、国道三〇三号の改良や新線鉄道の実現など、現在懸案となっている課題について引き続き協議することを確認しました。



現場踏査する協議会委員たち

市町村合併への取り組み経過について(下)

本市議会で取り組んできた市町村合併への取り組みについて、前回に引き続き平成16年以降を掲載いたします。

- 16. 1.20 ●第8回特別委員会
 - ・上中・三方町の法定協議会設立に向けて、市議会としての申し入れについて協議
 - ①議会として申し入れを行う。
 - ②文案、日程、内容について議長と調整
 - ③小浜市議会の意向が伝わるよう申し入れにマスコミを同伴する。
- 16. 1.27 ●第9回特別委員会
 - ・申し入れについて(委員会では合意・了承)議長から委員会の提案について報告・協議議会として、上中町・名田庄村両議会に申し入れすることを賛成多数で了承。
- 16. 1.28 ・議長から今回の申し入れ(上中町、名田庄村)について高浜町の議長に説明・議長から今回の申し入れ(上中町、名田庄村)について大飯町の正副議長に説明・議長から名田庄村議長に申し入れ(市長も村長に合併の市の意向を正式に提案)
- 16. 1.29 ・議長から上中町議長に申し入れ(正副議長から上中町正副議長へ)
- 16. 2. 2 ●第10回特別委員会
 - ・名田庄村、上中町両議会への申し入れ結果について議長から報告・名田庄村への申し入れ結果について市長から報告
- 16. 2.25 ●第11回特別委員会
 - ・今後の取組方向について協議、検討
- 16. 4.12 ・上中町議長 小浜市議長面談(上中町の議長らが1月29日の小浜市議会からの申し入れに

- 対する回答を小浜市の議長に提出)
- ・上中町長 小浜市長に申し入れ(合併協議会設置協議に係る議会への付議について、付議しないように申し入れ)
- 16. 4.15 ●第12回特別委員会
 - ・合併協議会設置協議に係る議会への付議について事前協議(市長から議長への相談を受け、特別委員会として全協の前に協議/市長の付議を了とする)
- 16. 4.21 ・名田庄村議会、小浜市議会それぞれの合併委員が意見交換(本音を語り合う)
- ・付議申し入れの件について、理事者からの報告(4月20日付で上中町から、小浜市の付議通知を受理した旨の報告)
- 16. 5.26 ●第13回特別委員会
 - ・上中・小浜合併協議会規約案の説明(理事者から、上中町との調整ができたため、その報告を受ける。)
- 16. 5.31 ・名田庄村長、議長と小浜市長、議長面談 名田庄村長から住民説明会に向けて小浜市の考えを再確認 1点一対等か編入か、2点自治組織は置けるか
- 16. 6. 3 ●第14回特別委員会
 - ・市長を迎え、31日の件を報告願ひ、委員会での意見交換を踏まえて、名田庄への回答を市長として考えていただきたい。
- 16. 6.10 ・本会議において市長から上中町との合併協議会設置関連議案

- が提出され、市町村合併特別委員会へ付託。
- 16. 6.11 ・5月31日の件について全議員の考えを市長が確認するため、全協で説明(個々に意見表明)
- 第15回特別委員会(付託案件審査1)
 - ・欠員委員長の選任一山 委員が委員長に・上中町との合併に関し、市長の意気込みが見えてこないなどの意見が多く、14日に市長を招致し審査
- 16. 6.14 ●第16回特別委員会(付託案件審査2)
 - ・付議議案提案の姿勢、小浜市の合併の基本方針、上中町2,300人の重み、さらには市長の取り組み姿勢などについて協議。16日の一般質問終了後に審査することを確認
 - ・市長から、名田庄への回答結果について報告(14日午後2時に名田庄で村長に回答)
- 16. 6.16 ●第17回特別委員会(付託案件審査3)
 - ・審査結果を取りまとめ、採決。挙手多数で2議案を採択。
 - ・委員長報告案を承認
 - ・本会議において、上中町との合併協議会設置関連議案を可決。

以上が本市議会の市町村合併に対する取り組みの経過です。



参加した議員たちは興味深い内容にメモを取りながら真剣に聞き入っていました。

毎年県内の市において開催される福井県市議会議員合同研修会が十月一日に福井市で開催されました。会場の福井県自治会館において前全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔氏を講師にお迎えし『議会運営に関する諸問題について』と題し講演をいただきました。講演では、分権時代を迎えた議員のあり方や議長役割、本会議での発言内容のほか、現在の県内でも各地で進展している市町村合併と議会運営についてなど、各議会において課題とされている様々な事項について、長年の経験から得られる的を射た厳しく、かつ、面白いお話をいただきました。

開催される福井県市議会議員合同研修会が十月一日に福井市で開催されました。会場の福井県自治会館において前全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔氏を講師にお迎えし『議会運営に関する諸問題について』と題し講演をいただきました。講演では、分権時代を迎えた議員のあり方や議長役割、本会議での発言内容のほか、現在の県内でも各地で進展している市町村合併と議会運営についてなど、各議会において課題とされている様々な事項について、長年の経験から得られる的を射た厳しく、かつ、面白いお話をいただきました。

議員合同研修会に出席

開かれた議会へ

本市議会では、早くからCATVによる本会議中継を導入するなど、開かれた議会を目指し取り組んでおります。市役所五階の議会事務局で受付していただければ、本会議、委員会の際聴かれます。本会議では市民の皆様にとつて重要な議論がされており、ぜひご意見をお寄せください。

編集後記

◎先日、福井市で開催された福井県市議会議員合同研修会には、長年議会事務に携わった方から講演をいただきました。分権時代における議会運営や住民と議会の関係、そして市町村合併による議会運営への影響など、いま地方議会が抱える課題を的確に捉えた非常に興味深い内容で、地方議会の議員としての責務や役割を再認識することができました。これからもこの議会だよりを通じて、市民の皆様が議会をより知っていただけるよう努めますのでよろしくお願いいたします。

- 〈広報委員会〉
- 委員長 深谷 嘉勝
 - 副委員長 垣本 正直
 - 委員 小堂 富永 清之
 - 委員 下中 芳夫
 - 委員 雅之